

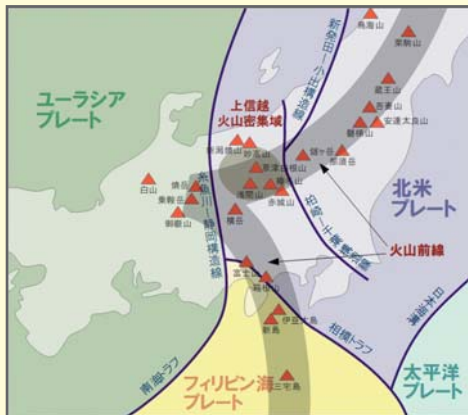
日本を代表する活火山「浅間山」



浅間山は今から約5万年前に活動を開始した安山岩質の複合火山です。円錐形で雄大な裾野を広げ、火口から常時噴気するその山容は、圧倒的な存在感で見ると迫り、生きた大地の姿を伝えます。

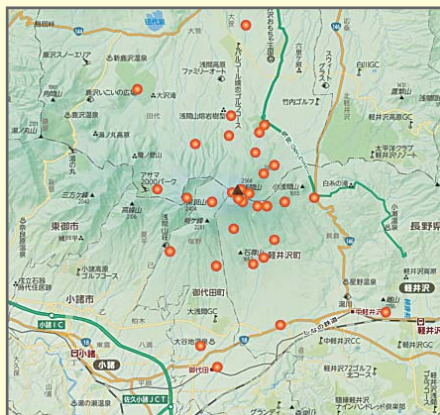
高さ：2568m
 上信越高原国立公園—**最高峰**
 関東—**第2峰**

火山前線の要(かなめ)を占める



浅間山は異なる火山前線の結節点にあります。東北から関東にかけて南に伸びる列島は、浅間山付近で大きく西へと向きを変えます。列島の形に影響をおよぼすほどの大きな力が作用して浅間山は生まれました。

国内屈指の観測体制



全国トップレベルの観測網と蓄積された豊富なデータを持つ浅間山は、日本の火山噴火予知の最前線を切り開いてきました。

天明3年(1783年)8月5日



知恵をつなぐ語り部たち

天明3(1783)年8月5日。浅間山の噴火に伴う土石なだれが鎌原村を襲い、村は一瞬にして埋没しました。当時570名いた村民のうち、477名が犠牲となり、助かったのは93名。その多くは高台の鎌原観音堂に逃れた人たちでした。

鎌原観音堂には「おこもり堂」と呼ばれる場所があります。おこもり堂では、鎌原観音堂奉仕会のお年寄りが、一日も欠かさず交代で先祖の供養を行い、訪れる人々を湯茶でもてなし、語り継がれた災害と復興の歴史を伝えています。

ジオパークガイドがご案内します

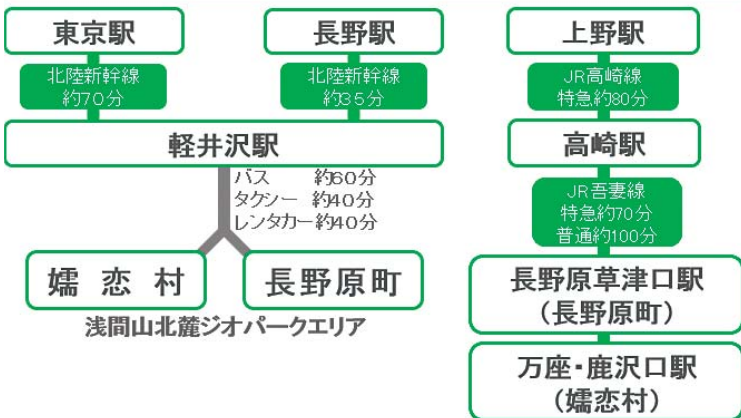
浅間山北麓ジオパーク認定ガイドによる案内(有料)を受付けております

《料金表》
 ジオガイド1人につき
 半日 ¥5,000 ~ 8,000
 1日 ¥10,000 ~ 16,000

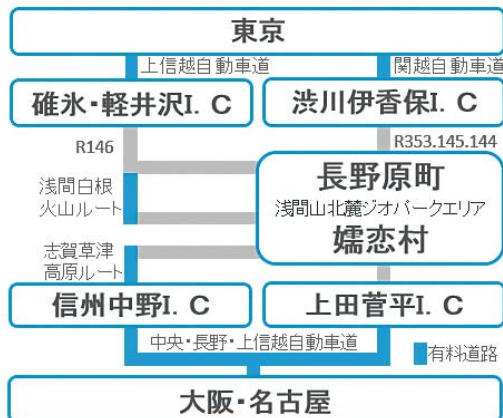


※ガイド1人につき15名までご案内
 ※登山を伴うガイドは10名まで
 ガイドをご希望の方は下記の推進協議会事務局までご連絡をお願い申し上げます

○電車をご利用の場合



○お車をご利用の場合



~災害と復興がつなぐ人々の営み~ 浅間山とともに未来へ

浅間山北麓ジオパーク



フェイスブックで情報発信中

浅間山北麓ジオパーク 検索



浅間山ジオパーク推進協議会

〒377-1524 群馬県吾妻郡嬬恋村大字鎌原 494-45

TEL/FAX : 0279-82-5566

Eメール : geo-asama@vill.tsumagoi.gunma.jp

Webサイト : http://mtasama.com





浅間山北麓ジオパークとは?
人々の暮らしに根付く
大地の記録も垣間見ること
のできる場所です。

